

令和8年熊本地震への経済産業省の対応（8月11日（火）時点）

1. エネルギー・インフラの状況

	状況
電力	熊本県で約4.9万戸の停電が発生。高圧線に加え低圧線も停電は復旧済み。 引込線を原因とする停電は、連絡いただき次第、原則当日の解消を目指す。（九州電力送配電が24時間体制の相談窓口を設置。九州電力送配電及び電気工事業者が連携して対応する体制を構築。）相談窓口について、避難所での周知を実施するとともに、順次、状況を確認し各戸に掲示・投函。
発電所	火力発電所※1・原子力発電所※2ともに、運転継続中。 ※1：九電・電源開発保有の発電所、※2：川内①②号機・玄海④号機
都市ガス	八代市で約8,900戸供給停止のうち、約6,500戸で供給再開済。 ※四捨五入のため、北部区域と南部区域の合計の値とは一致しない。 市街地北部区域（約3,000戸）：全戸で供給再開済。 ※家屋倒壊7戸除く。 市街地南部区域（約5,900戸）：約3,600戸で供給再開済。順次供給再開を進め、家屋倒壊（18戸）及び液状化の深刻な区域を除き、今週中には概ね復旧する見通し。 事業者にて、要請のあった病院や避難所への移動式ガス発生装置の配備を実施。希望されるご家庭にはカセットコンロを配布。
SS (ガソリンスタンド)	営業中68（被害の大きかった八代市、宇城市、氷川町のガソリンスタンド73か所の9割超。）復旧見込み：①8/15頃まで2か所、②数か月以上3か所 上記の他、震度6弱以上を記録した13市町村（熊本市、合志市、上天草市、宇土市等 計250か所）については、営業中249、営業不可1 八代市の出荷基地を活用するなど、通常時の最大4倍程度の供給力を確保。

2. 物資支援

- 被害の大きかった八代市・宇城市・宇土市・氷川町で9割以上のコンビニ（96店舗/100店舗）が営業。当該4市町等の被災地域の物量改善に向け、優先的な迂回ルート等をコンビニ各社に伝達し、活用開始。県内全体787店舗中、休業店舗数は、29日(水)時点:211店舗 ⇒11日(月)9時時点:6店舗(前日7)。
- 業務用エアコンは13か所要請、うち11か所で設置済、さらに2か所で設置中。循環型シャワー（WOTA）は88台設置済。
仮設・簡易トイレや段ボールベッド、熱中症対策用品、衛生用品、ブルーシート等も順次熊本の物流拠点に到着。大手物流会社による配送支援もトラック最大28台まで拡充。

3. 中小企業・小規模事業者への支援

- ◆ 災害救助法の適用に伴い資金繰り支援（※）、相談窓口（20か所）設置済。
※ ①災害復旧貸付等の実施、②セーフティネット保証4号（100%保証）の適用、③既往債務の返済条件緩和等の対応、④小規模企業共済災害貸付の適用
- ・ 中小企業分野の局地激甚災害の指定（熊本県御船町）について7日(金)に局激見込み公表。同日1800業界団体及び国・自治体の長に中小受託事業者との取引への配慮要請済。
- ◆ 局激指定見込みを踏まえ、「自治体連携型補助金」を通じて熊本県が実施する県内全域の中小・小規模事業者向けの復旧支援事業に、なりわい再建支援補助金と同等の高い補助率の支援が可能。補助対象事業者の範囲や多重被災事業者への支援については関係省庁と検討。
- ・ 局激指定地域では「災害復旧貸付」の金利をさらに引き下げ（1,000万円まで▲0.9%）、「セーフティネット保証4号」とはさらに別枠の100%保証も実施。

4. サプライチェーンの状況

- ・ 一部の半導体関連工場では、設備等の確認・点検のため操業を停止していたが、TSMC熊本や三菱電機、ルネサスなど、稼働を再開している工場も増加。
- ・ 一部の自動車部品工場において、設備等に被害が発生し操業を停止していたが、アイシン九州は8/2から一部部品の生産を再開。
一部の完成車メーカー（OEM）では、部品メーカーの被害状況の確認等を優先し、生産を一部停止（8/8～8/16自動車メーカーはお盆休みのため非稼働）。

※ 11日(火)時点で、経産省本省12名・経産局9名・産業保安監督部2名、合計23名を熊本県庁・市町の現場へ派遣。

○インフラ施設の復旧(河川、道路、港湾、上下水道など)

(1)道路

・高速道路

(E3九州道)

- ・松橋IC～えびのIC間は、一般車両通行不可
- ・ただし、8月11日9時から八代IC～坂本PA間も含め、E3九州道全線で緊急車両の通行可能。
- ・さらに、8月後半にはE3九州道全線で一般車両の通行が可能となる見込み。

(E3A南九州道) ※NEXCO管理: 八代JCT～日奈久IC、国管理: 日奈久IC～田浦IC

- ・八代JCT～田浦IC間は、一般車両通行不可
 - ・ただし、八代南IC～田浦IC間は、緊急車両のみ通行可能
 - ・また、8月後半には八代南IC～田浦IC間で一般車両の通行が可能となる見込み。
- ・直轄国道(直轄高速除く)
 - ・被災による通行止め: なし

(2)河川

- ・国管理河川では点検が完了し、3水系 8河川※91箇所です堤防天端のクラックなどの被害を確認。
- ・堤防の沈下や亀裂、はらみ出し等が生じた球磨川の堤防3箇所です緊急災害復旧工事に着手。比較的損傷が軽微な88箇所(白川3箇所、緑川44箇所、球磨川41箇所)も順次応急復旧工事に着手。
- ・8月7日を以て、対象全91箇所について、応急復旧完了。

(3)港湾

- ・八代港では、地震動による岸壁の変位及び液状化による噴砂や、沈下等が発生。
- ・耐震強化岸壁については7月29日に応急復旧を行い、コンテナ岸壁は7月30日に港湾空港技術研究所等の調査官の助言を得て利用可能と判断。
- ・その後も現地調査結果を踏まえた利用可否判断を順次行い、現在、八代港外港地区は5バース、内港地区は4バースの利用が可能。
- ・各利用可能な岸壁に、海上保安庁や海上自衛隊、港湾局等の船舶が支援物資の輸送、給水、入浴等の支援を実施。8/12(水)からは、外港地区の穀物バースにおいて、穀物運搬船の利用を再開予定。

応急復旧工程(片野川橋(上下線))



有識者確認→ベント設置→ジャッキアップ・遊間部コンクリート打設・段差修正・応急復旧等を踏まえ、
発災から14日後に九州自動車道全線で緊急車両の通行が可能となります



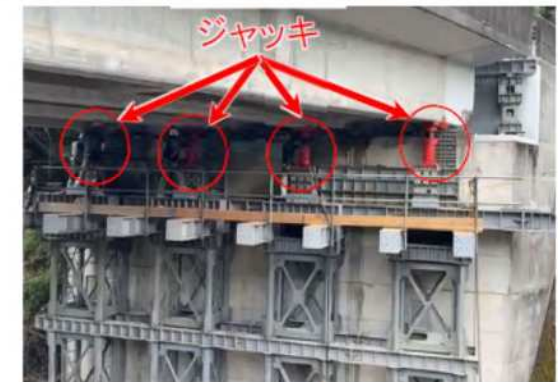
発災直後



ベント設置



ジャッキアップ・鋼製支保工設置



< 応急復旧状況 >



発災直後



8/9時点

遊間部コンクリート打設



段差修正



国土交通省(現地対策本部)からの報告

○インフラ施設の復旧(河川、道路、港湾、上下水道など)

(4)上下水道

- ・8月末の断水解消に向け、上下水道の応急復旧に全力で取り組む。
- ・毎日10時時点で応急復旧状況を更新(国交省HP)

※避難所、医療機関、福祉施設等の重要施設につながる管路については、上下水道一体で優先的に復旧を図る

水道

- ・発災後、最大約108,000戸が断水する状況。
- ・国土交通省及び日本水道協会より水道技術者を全国から派遣し、点検・応急復旧作業を実施中。

8/11 10:00時点、断水戸数は約34,000戸

(八代市、宇城市、氷川町)

- ・今後の復旧の見込みは以下の通り

※記載地域以外の断水は解消。

市町村	地区	断水解消見込み
八代市	旧八代市地区	8月末
	鏡町・千丁町	8月末
宇城市	松橋地区	8月末
	小川地区	8月末
	豊野地区	8月末
氷川町	迫地区・中大野地区・本山地区・原田地区・桜ヶ丘地区・立神地区	解消
	その他の地区	8月末

下水道

- ・国土交通省、全国の自治体※、日本下水道事業団より下水道技術者を派遣し、点検・応急復旧作業を実施。

※日本下水道協会の全国の相互支援ルールに基づき派遣

- ・現在、点検はすべて完了し、氷川町において応急復旧作業を実施中。
- ・8/11 10:00時点、作業完了の見込みは以下の通り。
- ・なお、応急復旧作業中の地区においても下水道は使用可能。

市町村	地区	作業完了見込み
宇城市	旧小川町	完了
氷川町	旧竜北町	8月中旬
	旧宮原町	8月中旬

○道路交通マネジメント

- ・ 災害発生時における道路交通の確保と円滑な交通マネジメントの実現のため、関係機関が連携し九州地方整備局が中心となり「熊本県災害時交通マネジメント検討会(令和8年熊本地震)」の第4回会合を8月7日に開催し、「お盆期間中の交通混雑緩和のためのご協力をお願い」を発表
- ・ 8月3日午前7時までに八代鏡宇土線(県道14号)の倒壊建築物の撤去が完了し、同時に国道3号(宇城・八代地域)の迂回路として、交通集中の分散を実施。(迂回路看板により誘導)
- ・ 8月8日朝、国道3号(氷川町大野～八代市岡町中)で8月4日から実施していた『ピンポイント路面改善作戦』が完了
同施工区間において走行性を改善
- ・ 引き続き、追加12箇所(宇城市松橋町久具～八代市高下西町)の舗装補修工事を8月10日夜間より実施中。
- ・ 渋滞対策として、引き続き、道路規制情報、渋滞情報等について、道路情報板、各機関HP、SNS等により提供
- ・ 特に、八代市周辺の交通状況については以下のHPで毎日更新(国土交通省道路局HP)
https://www.mlit.go.jp/road/road_fr4_000201.html



※平均旅行速度はETC2.0データを活用
出典:地理院地図上に加工して作成

図 令和7年8月12日～17日の平均旅行速度

国土交通省(現地対策本部)からの報告

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和8年8月10日
熊本河川国道事務所

道第1報 国道3号ピンポイント路面改善作戦《第2弾》
～追加12箇所を5夜連続で集中修繕～
【夜間片側交互通行規制】

令和8年熊本地震の復旧工事により、宇城・八代地域の国道3号の通行は確保されているものの、路面亀裂や段差により平坦性（凸凹の度合いや滑らかさ）が損なわれていたことから、先週、路面の損傷が激しく、走行性が特に損なわれていた主要3箇所の集中的な舗装補修工事を実施したところですが、今回、走行性の更なる改善を目指して、追加で12箇所の舗装補修工事を行うこととし、国道3号（宇城市松橋町久具～八代市高下西町）で夜間片側交互通行規制を実施いたします。

工事中は、国道3号は片側交互により通行可能ですが混雑を避けるため、県道14号も迂回路としてご利用ください。（迂回路は別添図を参考にしてください）

皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

国道3号
（宇城市松橋町久具～八代市高下西町）
令和8年8月10日（月）～8月14日（金）
夜間22時～翌朝6時 【片側交互通行規制】
【予備日】8月15日（土）

月	火	水	木	金	土	日
8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日
通行規制	通行規制	通行規制	通行規制	通行規制	予備日	

※作業の進捗等により、交通規制予定日が変更になることがあります。

※規制の実施にあたりましては、道路情報板でお知らせします。

また、現地においては、交通誘導員の指示に従って通行をお願いします。

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所 熊本災害対策支部



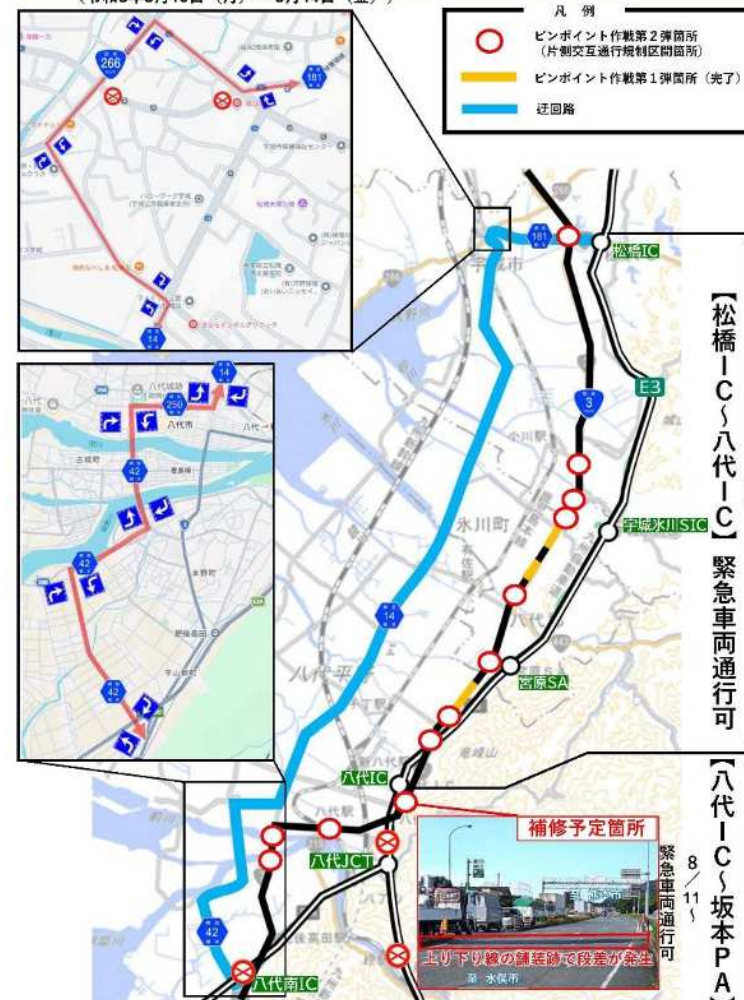
技術副所長 寺岡 岳彦
道路管理第一課長 やまだ たけし
山田 武司

〒861-8029 熊本県熊本市東区西原1丁目12番1号 電話：096-382-1111（代表）

- ・ 国道3号の走行性のさらなる改善を目指して、8月10日夜間から追加で12箇所の舗装補修工事を5夜連続で実施（『ピンポイント路面改善作戦』《第2弾》）

国道3号片側交互通行規制（22：00～6：00）予定 別添図

（令和8年8月10日（月）～8月14日（金））



■被災者支援

○応急給水

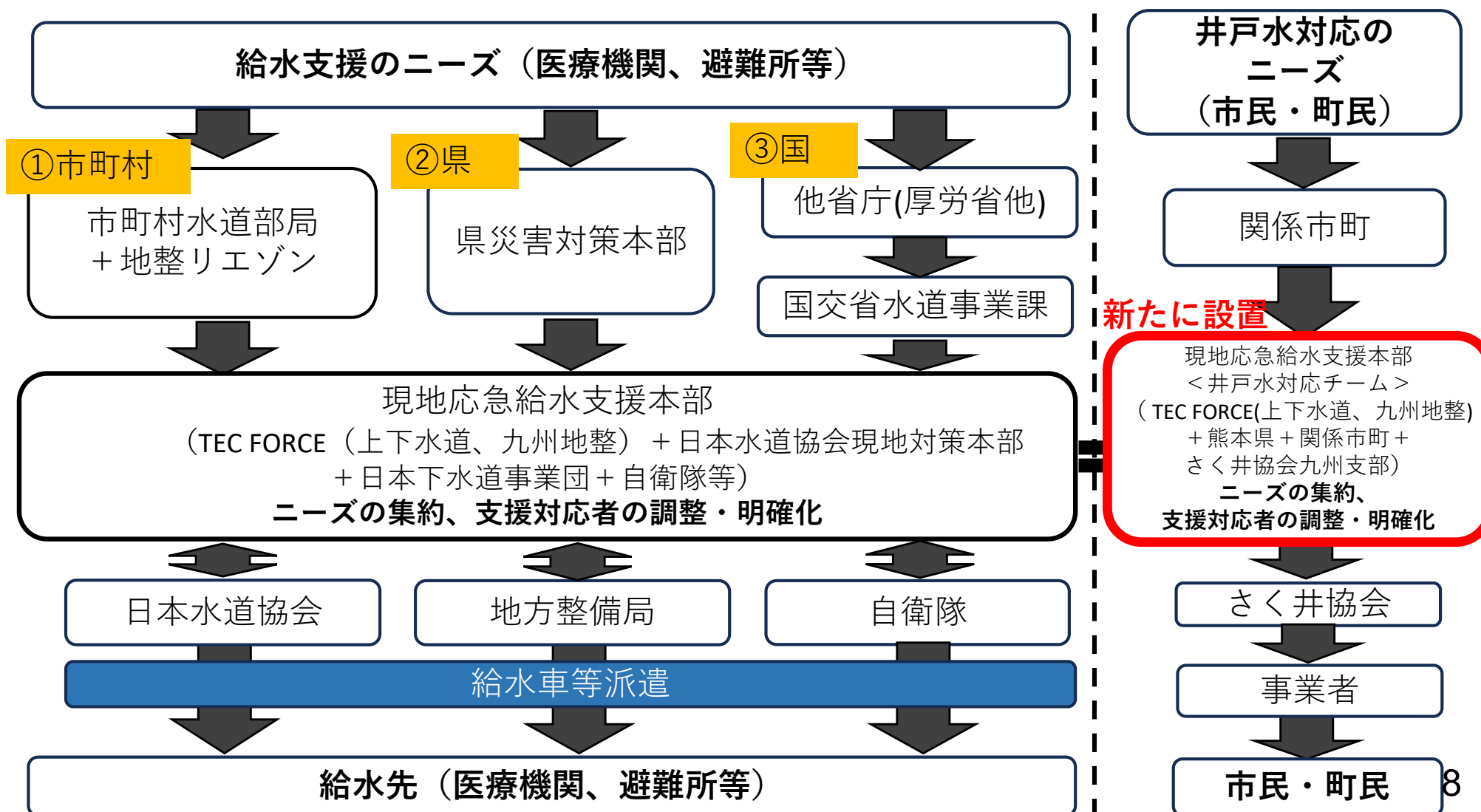
- ・「現地応急給水支援本部」において、国土交通省の現地派遣職員が日本水道協会と連携し、自衛隊等による給水活動とも調整しながら、避難所・医療機関に加え、新たに福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施。
- ・給水車 合計173台(国 18台、日本水道協会 105台、自衛隊 50台)
- ・水資源機構が保有する可搬式浄水装置を設置し、氷川町において8/4より稼働。8/9より入浴施設への給水に活用。



- ・水道の通っておらず井戸水で生活されていて、井戸が被災した方々を支援するため、現地応急給水支援本部の下に、本日(11日)「井戸水対応チーム」を新たに設置し、井戸水洗浄等のための業者派遣を調整。

井戸水対応チームの設置について

- 水道の通っておらず井戸水で生活されていて、井戸が被災した方々を支援するため、現地応急給水支援本部の下に、本日（11日）「井戸水対応チーム」を新たに設置し、井戸水洗浄等のための業者派遣を調整。



■被災者支援

○船舶等による直接的な給水スポットとしての活動

- ・地方整備局・海上保安庁の船舶による給水・入浴支援の場所・時間等が一目で分かるよう、SNSを活用した情報発信を実施中(毎日更新)。
- ・八代港において、昨日8/10(月)までに約564トン、本日8/11(火)に約1.42トン(12:00時点)の給水支援を実施。
- ・三角港において、昨日8/10(月)までに約364トン、本日8/11(火)に約0.07トンを給水(12:00時点)の給水支援を実施。

○入浴支援

- ・八代港において、8/1(土)から計1,929名への入浴支援を実施。
- ・三角港において、7/30(木)から計658名への入浴支援を実施。



給水支援の様子

(調査観測兼清掃船「海輝」・「海煌」、八代港)



入浴支援の様子

(巡視船「いわみ」、三角港)



■被災者支援

○緊急物資輸送

2次輸送(県→市町村の拠点輸送)は県トラック協会が輸送を手配中。3次輸送(市町村→避難所等)については各自治体が運送事業者のサポートも得ながら対応中。

○緊急物資輸送(雨漏り対策支援)

(一社)日本建設業連合会等を通じて、土嚢袋約20万袋を配布済(宇土市・美里町・菊陽町・山都町・八代市・氷川町・上天草市)。

あわせて、ブルーシートについては九州地方整備局と日本建設業連合会九州支社との災害協定に基づき、県・各市町へ累計約19,000枚を配布。



宇城市ブルーシート配送完了(R8.8.5)



宇土市ブルーシート配布状況

○住宅

- ・(独)都市再生機構において、被災者向けの住宅提供として、UR賃貸住宅を全国で140戸確保。8月7日より受付開始。

- ・被災者の住まいの確保に関する情報をとりまとめ、8月7日より国土交通省HPに掲載

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk3_000188.html

(公営住宅等の提供、賃貸型応急住宅の提供、(独)住宅金融支援機構による災害復興住宅融資等、被災住宅の補修等に関する相談窓口、住宅リフォーム事業者等に関する情報)

国土交通省(現地対策本部)からの報告

○熊本地震に伴う八代海沿岸地域における浸水や冠水への注意喚起 (8月10日プレスリリース)

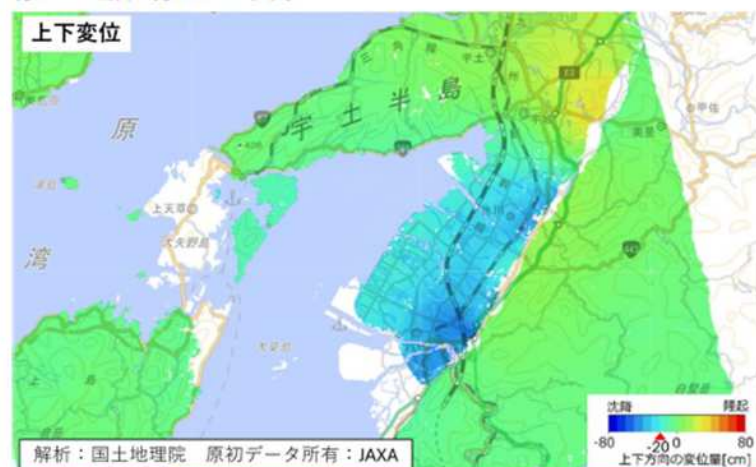


令和8年8月10日
港湾局 海岸・防災課
国土地理院
気象庁 大気海洋部

熊本地震に伴い八代海沿岸地域では浸水や冠水にご注意ください
～8月13日前後の満潮時間帯を中心に潮位が非常に高くなります～

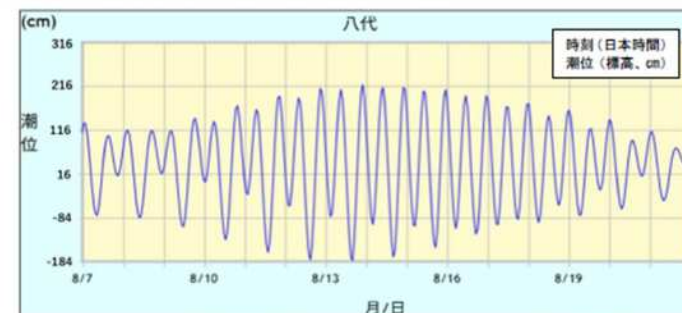
令和8年(2026年)熊本地震に伴い土地の沈降や液状化の影響で、8月11日から16日にかけての大潮の時期には、八代市周辺の沿岸では浸水や冠水のおそれがあります。被災地において、堤外地等で支援や復旧活動をされる際には十分ご注意くださいとともに、浸水や冠水のおそれのある場所では、土のう設置等の事前準備をお願いします。

「だいち2号」及び「だいち4号」の衛星による観測データを用いた解析の結果、今回の地震の影響により、熊本県の広い範囲で土地の沈降が確認されました。八代市沿岸では、約20cmの沈降が発生しています。



※ 図の中央の色が付いていない部分は、変位が発生していなかったことを示すものではありません。地震の前後で地表面の状態が複雑に変化したことなどにより、衛星 SAR による変位計測ができなかった領域を示しています。

この時期は、海水温が高いなどの影響で、平常時の潮位が年間で高い時期となっています。特に8月13日の新月の前後は大潮の時期にあたるため、海岸や河口付近の低い土地では、満潮の時間帯を中心に浸水や冠水のおそれがあります。



八代の満潮時刻			八代の満潮時刻		
8月11日	7時18分	20時34分	8月12日	8時15分	21時16分
8月13日	9時03分	21時53分	8月14日	9時46分	22時25分
8月15日	10時24分	22時52分	8月16日	10時57分	23時14分

八代の満潮時刻については、以下のページからご確認ください。

<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/db/tide/suisan/suisan.php?stn=05>

最新の気象予測も踏まえた潮位予測については、以下のページからご確認ください。

https://www.data.jma.go.jp/cmp/data/311/tide/s_Yatsushiro.pdf

そのため、被災地において、特に堤外地等で支援や復旧活動をされる際には、十分にご注意ください。支援活動に活用されている八代港においては、九州地方整備局と港湾管理者である熊本県が連携し、土のう設置の準備を行っております。その他の沿岸地域においても、必要に応じて事前の浸水対策をご検討ください。

(参考)

港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策ガイドライン(令和8年3月一部改訂：国土交通省港湾局)

https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr7_000131.html

港湾における高潮・高波被害軽減のための土のう設置事例集(令和2年9月：国土交通省港湾局)

<https://www.mlit.go.jp/kowan/content/001361826.pdf>

<問合せ先>

(堤外地に関する浸水について)

国土交通省 港湾局 海岸・防災課 海岸・防災企画調整官 工藤、調査係長 宮下
TEL：03-5253-8111(内線46-712、46-736)、直通：03-5253-8688

(地盤沈下等の地殻変動について)

国土地理院 防災・地理空間情報企画センター 防災企画調整課 課長 水田
TEL：03-5253-8111(内線59-432)、直通：03-3508-4612

(大潮等の気象状況について)

気象庁 大気海洋部 海洋気象情報室 主任技術専門官 井上
TEL：03-6758-3900(内線4743)、直通：03-3434-9018

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

令和8年熊本地震に係る災害派遣について（令和8年8月10日活動実績）

令和8年8月11日
防衛省

概要

- 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。
- 同日（28日）1730、熊本県知事から陸自第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 昨日（10日）現在、陸自第8師団を中心とする自衛隊員約5,100名態勢で活動。

昨日 （10日） の 自衛隊の 主な活動

【主な活動部隊等】

陸自第8後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自西部方面後方支援隊（目達原・佐賀）、海自艦艇2隻（えんしゅう、くにさき）、空自第8航空団（築城・福岡）、空自西部航空施設隊（芦屋・福岡）、空自西部航空警戒管制団（高畑山・宮崎）等

【輸送活動】

- 米軍輸送機C-130により、横田基地から陸自高遊原分屯地まで救援物資の輸送を実施。
また、空自西部航空方面隊が救援物資の荷下ろし作業を実施。

【給水支援活動】

- 八代市や宇城市をはじめとする7個市町の計25箇所において、給水車54両により、引き続き給水支援活動を実施。

【入浴支援】

＜熊本市（1か所）＞

- 陸自第8後方支援連隊
・ 火の君文化センターにて陸自がシャワーによる入浴支援を、午後6時から午後10時まで実施。

＜宇城市（2箇所）＞

- 海自多用途支援艦「えんしゅう」
・ 三角港緑地公園の「えんしゅう」内にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後3時から午後10時まで実施。

○ 陸自第8後方支援連隊

- ・ 小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後11時まで実施。

＜八代市（1箇所）＞

○ 海自輸送艦「くにさき」、海自佐世保入浴支援隊

- ・ 八代港岸壁及び「くにさき」内にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後3時から午後10時まで実施。「くにさき」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。キッズスペース設置済み。

＜氷川町（1箇所）＞

○ 空自第8航空団、空自西部航空施設隊等

- ・ 氷川中学校にて、水再生型シャワーによる入浴支援を、午後2時から午後10時まで実施。（男性：1600～1800、2100～2200、女性：1400～1600、1800～2100）

＜宇土市（1箇所）＞

○ 陸自第8後方支援連隊

- ・ 宇土市役所にて、シャワーによる入浴支援を、午後5時から午後11時まで実施。

【PFI船舶「はくおうⅡ」による生活支援】

- 台風13号の影響で八代港から離れていたPFI船舶「はくおうⅡ」が八代港に再入港。11日以降、入浴支援等を開始予定。

【連絡員の派遣状況】

- 熊本県庁等に、最大8箇所・延べ約25名派遣。

活動の様子（8月10日）



米軍から届けられた救援物資
※8/9撮影



八代港へ再入港した「はくおうⅡ」



【熊本市】陸自による入浴支援
※8/4撮影



【八代市】海自「くにさき」での
健康相談 ※8/4撮影



【八代市】海自「くにさき」の
キッズスペース ※8/5撮影



【宇城市】空自による給水支援
※7/29撮影